

明治6年（1873）時の明治天皇は、近衛兵を引き連れてこの地で大規模な演習を統監された。

お供には天皇の信望厚い近衛都督の西郷隆盛もいた。

その時に天皇が野営された場所が現在の船橋市習志野台4丁目あたりであった。

この時に天皇は、この地が演習場として大変有効な土地であると判断され、以後この地を『習志野之原』と命名し、陸軍の演習場として活用するよう命ぜられたのであった。

天皇がお供を引きつれ地方にお出かけになることを『行幸(ぎょうこう)』または『御幸(みゆき)』と言った。

野営をされた場所には後に行幸記念碑『明治天皇駐蹕之处(めいじてんのうちゅうひつのところ)』が建立された。

また、石碑が建立された場所は「御幸台」と呼ばれていた。

石碑は平成6年まで船橋市習志野台4丁目に現存していたが、「みゆき町会」の会館が建設されるにあたり、薬円台公園内に移設されて現在に至っている。

なお、町会名は『御幸台』から名づけられているそうである。